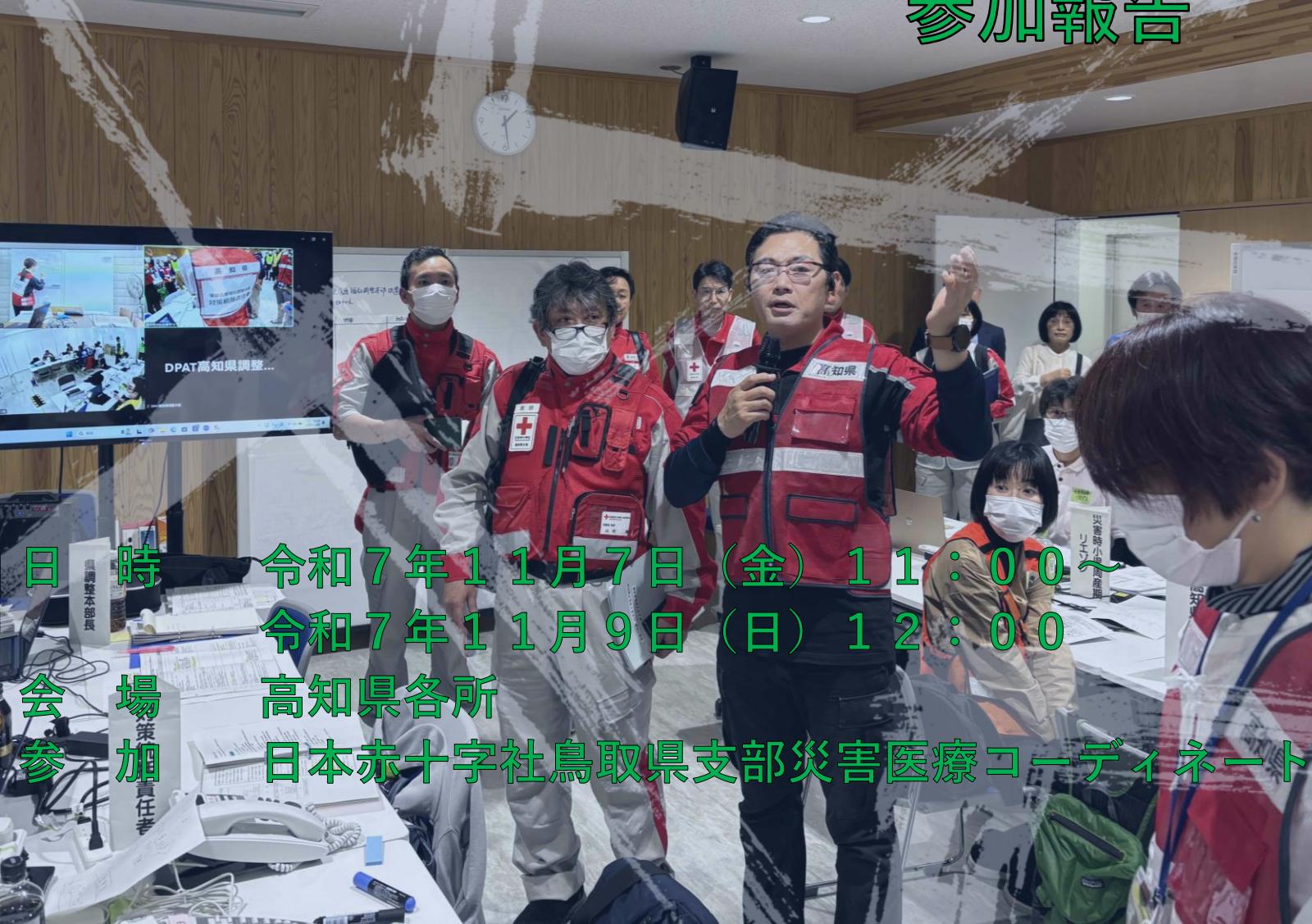


# 令和7年度日本赤十字社中国四国各県支部合同災害救護訓練 参加報告



# 訓練目的

日本赤十字社第5ブロック（以下、「5B」と言う。）管内における地震発生を想定し、被災地所在県支部災害対策本部（以下、「被災県支部」と言う。）の各種事態への迅速・適切な対処及び、本社及び5B各県支部による被災県支部の支援に係る各連絡・調整等にかかる具体的な活動を実施し、日本赤十字社各計画の検証を行い、被災県支部災害対策本部機能及び5B各県支部による支援体制の充実・強化を図るとともに、行政機関や他の救護団体等との連携に努め、来る災害に備える。

## 訓練想定

### 【南海トラフ地震臨時情報（警戒）】

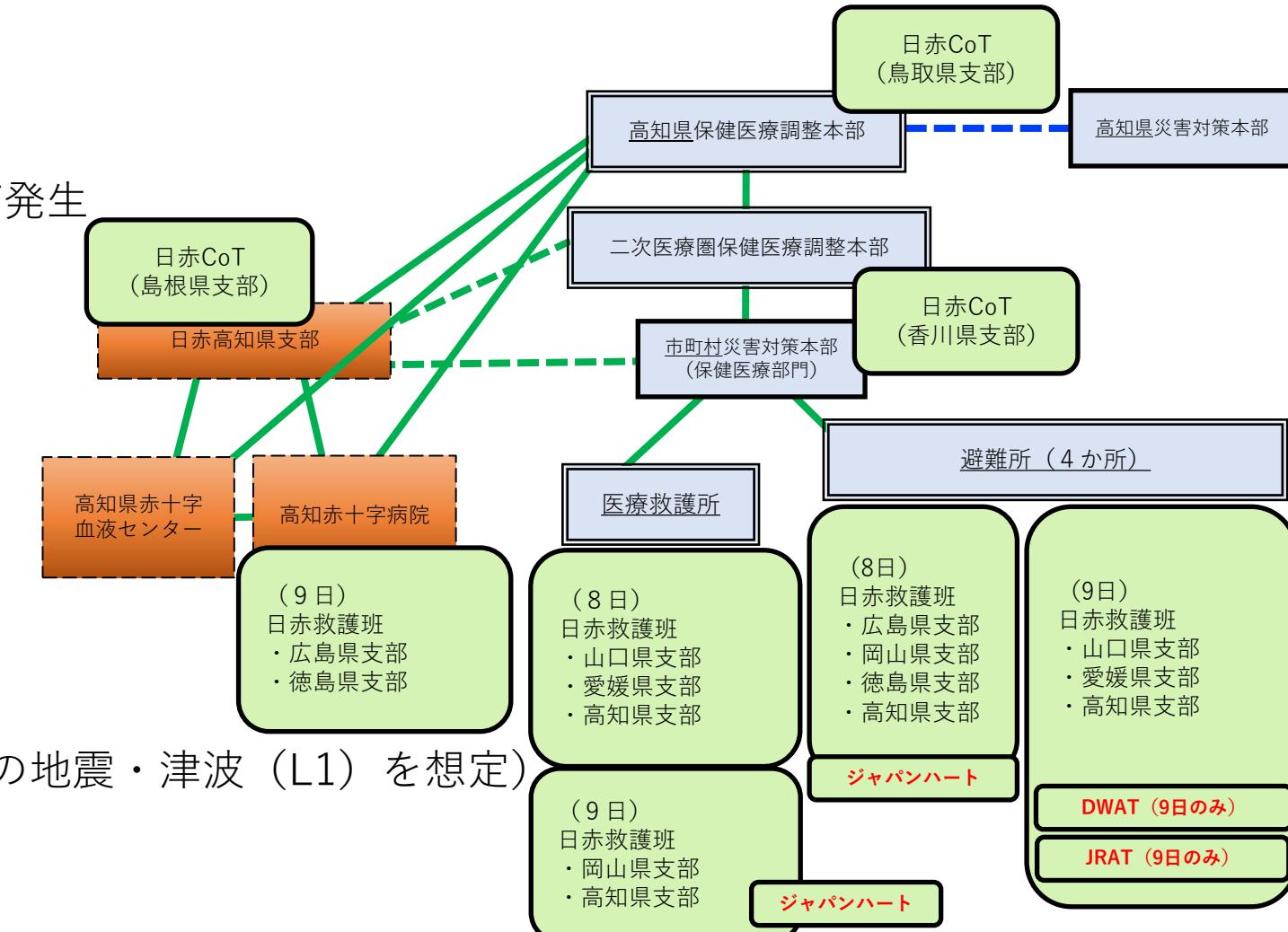
令和7年11月7日（金）11：00

静岡沖を震源とするM8.1（深さ30km）の地震が発生

最大震度7（東海地方）※高知県は最大震度5弱

千葉県から九州沿岸に大津波警報が発表

※5B内においては、高知県にのみ被害が発生。



### 【南海トラフ地震（本震）】

令和7年11月8日（土）15：30

土佐湾沖を震源とするM8.0の地震が発生

（高知県が公表している発生頻度の高い一定程度の地震・津波（L1）を想定）

最大震度7（高知県）

高知県沿岸に大津波警報が発表

# 日本赤十字社鳥取県支部災害医療コーディネートチームの携行資機材

## 日本赤十字社鳥取県支部

### 【車両】

通信指令車（搬送不可、にっせきとつとり1、せきじゅうじとつとり1、ワイドスターII）

### 【通信】

日赤業務無線「陸上移動局（基地型）：にっせきとつとり6」

日赤業務無線「陸上移動局（携帯型）：にっせきとつとり103、せきじゅうじとつとり103」

可搬型衛星電話（BGAN Hughes9202M）

Wi-Fiルーター（docomo）×1、surface×1

### 【電源・燃料】

蓄電池×（中:1）

### 【救援物資】

なし

### 【食糧】

なし

## 鳥取赤十字病院

### 【通信】

Wi-Fiルーター（docomo）×1、モバイルプリンタ×1、Let'snote×3

### 【医療資機材】

なし

### 【ロジスティックス資機材】

ホワイトボードシート一式

# 日本赤十字社鳥取県支部災害医療コーディネートチームの活動記録

## 【初日】

- 07:00 東南海地震「南海トラフ地震臨時情報（警戒）」により被災地に向け出発
- 12:20 日赤高知県支部現地災害対策本部 到着  
・日赤高知県支部災対本部から被災状況等の説明と活動指示（県保健医療福祉調整本部へのCoT派遣）  
・日赤高知県支部配置CoT（島根県支部）とブリーフィング
- 13:22 高知県保健医療福祉調整本部 到着  
・日赤高知県支部リエゾン（原Co、田村事業推進課員）と合流  
・高知県内の被災情報収集（医療機関の被災状況:EMIS）、（避難所情報の状況集約:D24H）  
・県庁CoTの活動要約と日赤高知県支部災対本部への依頼事項を支部CoTへ連絡
- 15:30 南海トラフ地震 発生  
・シェイクアウト演習  
・セーフティー確認と現状分析のため、日赤高知県支部帰還
- 19:17 宿泊地に向け出発  
・高知県内が津波等により被災のため四国中央市に宿営  
・四国中央市、日赤含む多くの期間が参集し市街地中心部混雑

## 【2日目】

- 07:00 宿泊地 出発
- 08:15 日赤高知県支部災対本部 到着  
・支部災対本部、日赤高知県支部CoT、中央東保健医療福祉調整本部CoT（香川県支部）とブリーフィング
- 09:11 高知県保健医療福祉調整本部 到着  
・日赤救護班の追加派遣調整  
・METHANE情報、県保健医療福祉調整本部活動方針の収集と同情報の日赤高知県支部災対本部への発信  
・現場救護所（佐喜浜保育所）への救護班派遣調整
- 11:30 訓練終了



## 日赤高知県支部災害対策本部 立上げ

- ・11/7（金）11:00発災「東南海地震」により、日赤高知県支部災害対策本部（第2次救護体制）を設置する支部事務局職員
- ・11/7（金）11:30発令「南海トラフ地震臨時情報（警戒）」により、（第3次救護体制）を敷き、日赤南海トラフ地震計画に準じた受援の決定を行う災害対策本部要員

10:30	大石	鳥取CoT	医療CにQCoT(高知①)に向かう →向かわせるにあたって道路状況 医療Cまでの道路状況について、通 高速通行可能。
10:32	鳥取CoT	大石	医療Cに高知救援班①と向かい 活性の求人護班について。 明日(1/10)第5ブロックから3隊 第2ブロックから2隊
10:32	大石	鳥取CoT	中央東福祉保健所 希望の家倒 救援班1隊派遣してほしい。
10:36	大石	鳥取CoT	支部HPで、QCoT活動内容も更新し 明日(1/10)派遣救援班の派遣元支 →島根、広島、山口、千葉、東京 明日の救援班の到着時刻を教えて 高知県に入る交通状況を教えてほしい 高知県救援班①活動場所の変更 希望の家の被害状況と傷病者数、 情報を教えてほしい。
10:40	香川CoT	知部 災害本部	義援金 300万円 寄附の申し入れ 受取式を向く希望(今週中) パンで1日最大5,000個 避難所に届け →確認して折返す。消 被服物資(ほしい)毛布1,000、安眠 救急セット250 →確認して折返可 高知県に入るトンネル全て倒壊のため 進入不可。四国に入る橋も渦戸大橋 「らじき」を届けたい。JR新規
10:44	高知市民	高島	
10:45	島根CoT	島根CoT	
10:45	島根CoT	島根CoT	
10:50	吉岡	高知赤HP	
10:56	島根CoT	香川CoT	
10:56	高天県 競馬組合	高島	
10:56	高知市民やJR	岡田	
11:00	四万十地区	アオサキ	
11:05	県庁CoT	島根CoT	



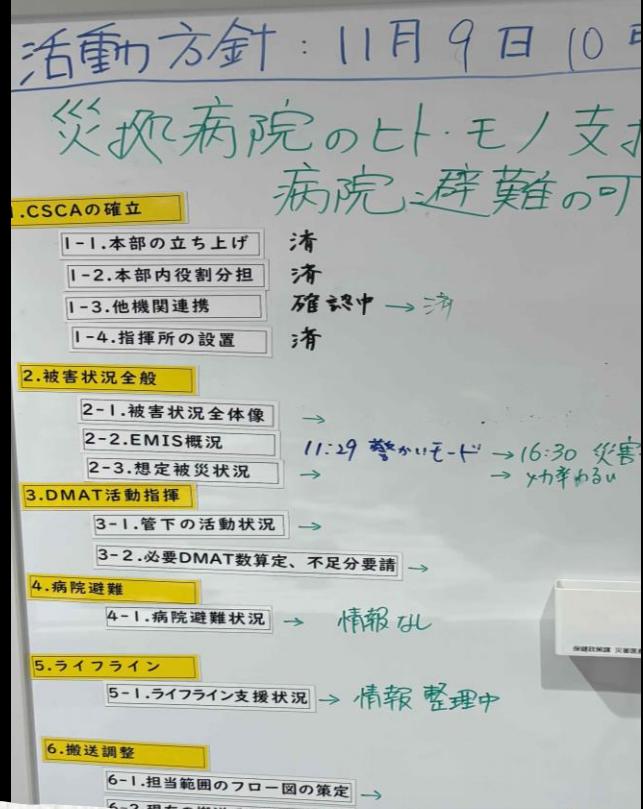
## 日赤高知県支部災対本部に到着し、活動打合せを行う島根県支部CoT

- 協議の結果、高知県保健医療福祉調整本部での活動が決定
- 日赤高知県支部災害対策本部に配置の島根県支部CoTと打合せを実施
- 日赤高知県支部災害対策本部の活動方針をもって高知県保健衛生総合庁舎に向かう



## 高知県保健医療福祉調整本部で本部活動を実施する鳥取県支部CoT

- ・多種多様な保健医療福祉チームが参集する中、赤十字のショー・ザ・フラッグ
- ・鳥取県支部CoTが県庁で活動を実施するために、日赤支部リエゾン（原Co、田村事業推進課員）による地元解説と他機関との関係構築への導入と手解きが非常に有用であり、日赤高知県支部の他機関に対する平時からの顔の見える関係の良さを実感した



## 高知県保健医療福祉調整本部で本部活動を実施する鳥取県支部CoT

- 11/8（土）15:30発災の南海トラフ地震を受け、シェイクアウトを演習する保健医療福祉調整本部
- 支部災対本部、支部CoT（島根）、県庁CoT（鳥取）、二次医療圏CoT（香川）によるWeb会議
- 県庁では通信（電話回線、Web回線）の確保と情報ツール（EMIS,j-speed,d24h,sharepoint,teams...等々）への対応に苦慮し、本番では更に多くのシステムが導入されることから、日ごろの習熟の必要性を再認識した

施設名	所在地	災害拠点病院被災状況								
		薬物の危険状況 有or無	ライフライン・サプライ状況 有or無	医療機関の機能 可否	現在の患者情報 可否	今後、転院が必要な患者 の状況				
		水道 電気 水温 医療 ガス	食糧 医薬品	手術 人工呼吸	在院患者数 基準(1月) 4000人	重症(2%) 400人	軽症(10%) 400人	人工呼吸 酸素	搬送 搬出	搬入 搬入
高知医療センター	高知市池2125-1	なし ○ 3日 3日 3日 3日	○ 10 260 3 3 3 3							
高知赤十字病院	高知市赤十字一丁目8番11号	なし ○ 5日 5日 3日	○ 50 220 2 0 2 0							
高知大学医学部附属病院	高知市済生会一丁目185-1	なし ○ 7日 5日 5日 10日	○ 115 252 0 2 0							
高知県立あき総合病院	安芸市宝永町3-33	なし ○ 3日 3日 3日 3日	○ 27 115 1 0 1 0							
JA高知病院	高知市明葉美字町52-1	なし ○ 3日 5日 3日 3日	○ 20 95 1 0 1 0							
云森病院	高知市大川町1-16	なし ○ 向 背 向 向	○ 102 0 0							
独立行政法人国立 病院機構高知病院	高知市朝倉西町1-2-25	なし ○ 4日 5日 5日 5日	○ 60 40 0							
土佐市立土佐市民 病院	土佐市高岡町甲1883	なし ○ 5日 5日 5日 5日	○ 36 80 3 0 2 1 3							
いの町立国保健康 保険仁淀病院	高岡郡いの町189	なし ○ 2日 2日 2日 2日	× 20 50 1 0 1 0							
直崎くろしお病院	高岡郡直崎町4-30	なし ○ 5日 5日 5日 5日	× 25 80 5 0 5 0							
心ばかり病院	高岡郡高岡町1-20	なし ○ 5日 5日 5日 5日	○ 30 80 1 0 1 0							



## 高知県保健医療福祉調整本部で本部活動を実施する鳥取県支部CoT

- 南海トラフ地震発生後は、被害想定が深刻な状況（特に四国↔本州、高知県境トンネル）となり、日赤としても支援救護班（島根、山口、広島、東京、千葉）のアクセスが困難を極めた。また、本震前に高知市内で活動中の救護班を優先順位的に市外に投入するにも、市外へのアクセスが深刻で空路搬送の調整に苦慮した
- 高知県ではDMAT活動拠点本部が県庁支部（保健所）の設置となっており先進さを実感した